

## 祝 辞

ゆり組のみなさん、ご卒園おめでとうございます。

一番長い人で6年間、みなさんはこの出仲間こども園で先生やお友達と一緒にいろいろなことに頑張ってきました。楽しかったですか？きっと一人一人の心の中にいろいろな思い出がたくさんできたのではないかと思います。

園長先生は、この1年間みなさんにたくさん思い出をもらいました。

去年の4月に初めてのクラスに期待と不安で胸をドキドキさせていたみんなの姿。

自分の力を思いっきり出してがんばっていた「仲間っこオリンピック」での元気な姿。

みんなで力を合わせて作った おみこしやゲームコーナーなどで とても盛り上がった「夏まつり」。

9月にはヴィーヴルに出かけて おじいさんやおばあさんに歌やお話をプレゼントしましたね。みなさんに肩もみをしてもらって、おじいさん・おばあさんたちはとても喜んでいましたよ。

秋になったら「ハロウィンパーティ」

12月には「ハッピークリスマス」とても楽しかったですね。

中でも園長先生が一番心に残っているのは、ゆり組のみんなが自分たちだけで考えてこども園のみんなを招待した「おたのしみ会」です。

みなさんが大好きだった「ロボットカミィ」のげきを発表するために、いろんなミッションをこなし、着るものや道具を全部自分たちだけで作り上げてがんばりましたね！招待されたみんなも、とてもよろこんでいましたよ！

先生から言われたことだけをするのは簡単だけど、みなさんはいつもみんなで話し合っ、ケンカをするときもあったけど、最後は力を合わせてがんばっていましたね。

園長先生はそれが一番大切なことだとおもいます。

みなさんは、この出仲間こども園でたくさんのお友達ができました。

小学校に行ったら、出仲間こども園だけではなく、他の幼稚園や保育園からやってきた人たちともたくさん出会うことになります。小学校のいろいろな人たちとも、早く仲良しになって、友達になって、たくさん新しいつながりを作って欲しいなと思います。

そして、時には出仲間こども園にも遊びに来てください。

待っています！

保護者の皆様方、本日はお忙しい中、出仲間こども園の卒園式にご出席いただきまして本当にありがとうございます。

今年の卒園式は、当園始まって以来の異例の形となってしまいました。来賓の方や在園児がいないこと、内容も簡素化が迫られたことなど、今までにないの形での式となってしまい、本当に悔しい思いでいっぱいです。

ですが、これほど制約が多い中、コロナウイルスの影響などみじんも感じることなく、堂々と卒園証書を受け取ることができた卒園児たちの姿は、逆に例年より以上に皆様の心に残ったのではないのでしょうか？

これから子どもたちが巣立っていく未来は、いろんな意味で大変な時代になるのではないかと思います。今回のコロナウイルスによる物資の不足・経済の混乱のように、予想もしなかった筋書きのない課題に、自ら考え、他者と協調し、既成の価値観にとらわれない柔軟な思考や主体性が問われる時代になると考えられます。

そうした意味で今年の年長児クラスは、子どもたちの主体性を大切に「やりたいこと」をみんなで作り上げていく…そうした姿勢を大切にし、また担任もそうした思いを形にできるように単元や活動を工夫してきました。そして子どもたちも、その期待に応じて主体的に楽しく活動に取り組み、素晴らしい集団に成長できたと思います。

結びにあたりまして…

保護者の皆様方、改めまして 本日は誠におめでとうございます。園生活では至らない面も多々あったかと思いますが、皆様の暖かなご協力・ご理解のおかげで本日を迎えることができました。

職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、卒園児の皆さん、並びにご家族の皆様の、ますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、園長の挨拶とさせていただきます。

本日は、ご卒園誠におめでとうございます！

令和2年 3月21日

出仲間こども園

園長 平岡 正浩